



平成30年7月2日

# とべだより

7月号

横浜市立戸部小学校

## 「やる気」と「潔さ」

副校長 猪熊 憲一



6月13日（水）に本年度の「とべとベスポーツフェスティバル」のスタートとなる、「とベスポ出発式」が体育館で行われました。ここでは、児童実行委員の紹介の他、スローガンや応援団募集についてのお知らせ、リレー選手選考のお知らせがありますが、メインとなるのは赤白決めです。1組、2組がそれぞれ何色になるかを各クラス代表による競技の勝敗で決めるのです。種目は1・2年生が一人綱引き、3・4年生が腕相撲、5・6年生が二人飛びつき綱引きです。全員が体育着で参加し、クラス代表への応援で、体育館中が拍手と声援に包まれました。

このような熱気が生まれたのは、代表を応援しようという「やる気」が子どもたちの中で高まっていたからだと思います。さらに、「自分たちの組は〇組になりたい」という気持ちを強くもっていたこともあると思います。このような気持ちは自然に起こったわけではなく、それなりのしかけがあったのです。

この出発式が行われるのに先立ち、6年生が各学級に「自分たちの組は、この色にしたい」ということをその理由とともに伝達していたのです。ですから、どの学年でも競技に勝ったクラスが、「赤組（になりたい）」と答えました。1組も2組も、どの学年でも競技に勝ったクラスが「赤組」を希望するのですから、応援の声も歓声も大きくなります。体育館中がすごい熱気に包まれます。

この様子を見ていて、D.カーネギーの言葉を思い出しました。

「人を動かす秘訣は、この世に、ただ一つしかない。すなわち、自ら動きたくなる気持ちを起こさせること—これが秘訣だ」

教師がただ「みんな、応援しよう」と子どもたちに言うだけで、子どもたちにこのような「やる気」が生まれるとは思えません。そこには、子どもたちの「やる気」が出てくるような教師の働きかけがあったと思います。その1つが、6年生が事前に行った行動です。大切なのは、自分たちが自らの気持ちで動く、ということです。これこそが本物の行動だと思います。

さて、赤白決めの結果です。競技に勝った1・2・6年生の1組が赤を希望し、3・4・5年生の2組が赤を希望しました。全学年終わって、3対3になり、6年生で再度競技を行った結果、今年度は1組が赤、2組が白に決まりました。

実は私は、代表になって力を尽くしたものの勝負に負けてしまった子は、その後大丈夫だろうか、と気にしていました。悔し涙を流していた子もいましたが、周りの子が肩をたたいたり、笑顔で迎え入れたりしている様子を見て、ほっとしました。一生懸命、競技に取り組んだり応援したりして、その結果については、潔く受け入れる。このような姿を子どもたちが見せてくれたことを本当にうれしく思いました。

とべとベスポーツフェスティバルは、9月29日（土）開催です。子どもたちがもっているよさが十分発揮できるよう、「自ら動きたくなる気持ちを起こさせること」を意識して、教職員一同、支援していきたいと思えます。